

「第4回アジア太平洋薬学生会議」(A P P S)は、最終日の夜にGala Nightを盛大に開催して幕を閉じた。前回のタイ会議を上回る過去最

多の参加者を数え、広がりつつある世界の薬学生の輪を、次回のインドネシア会議につなげていくことを参加者全員で誓い合った。

薬学を共通言語に “学生の輪”世界へ 成功したA P P S

家族のような結束が

Gala Nightには、参加者が思い思いに盛装して登場。1週間にわたる会議の労を互いにねぎらうと同時に、会議を通して知り合った友人との別れを惜しんだ。

A P P Sはホスト国のメンバーがグループリーダーとなり、参加者はグループ単位で1週間寝食を共に過ごす。そのため会議が終了する時には、家族のような結束が生まれるのが特徴だ。実際に参加者に感想を聞くと、「薬学を通じて多くの友人ができたのが一番よかった」との声が最も多かった。

また、公衆衛生をテーマに厚生労働省などから講師を招いての講演、学生自身が司会を

務めたワークショップ、施設見学も参加者に大きな影響を与えたようだ。参加者からは「自国では勉強したことのないエイズについて学べてよかった」「世界の中で熱心に活動する薬剤師の業務を見学でき、刺激になった」などの感想が寄せられた。

薬学生が主体となって、こうした会議を開くのは、わが国では非常に珍しいケース。中心になった“薬学生の集い”はA P P S開催に向けて、努力と工夫を重ねてきた。実行委員の1人は、「半年前には本当に開催できるか、費用面でも言葉の面でもとても不安だった。しかし薬剤師会や他の学生団体など多くの人たちに協力してもら



お薬手帳のワークショップ風景(上)と、小グループに分かれてのディスカッション



い、成功させることができて嬉しい」と話し、関係者に感謝の気持ちを表した。

実行委員長の井上愛美さんも「前回の参加者をさらに上回り、過去最高の参加者を記録することができた。この雰囲気や、ぜひとも次回のインドネシア会議につなげたい」と語った。薬学を共通言語として、世界の人々の健康に役立つために研鑽する薬学生の輪が、今後もさらに広がっていくことを期待したい。

インドネシアで再会を



夜ごとに賑やかな交流会が催され、インターナショナルナイトでは参加者は自国の民族衣装を身にまとった



薬学生のソーシャルネットワーキング

www.canpass.net

もっとひろがる
きっとみつかる

無料

就職情報
会社説明会情報
学校別掲示板
ブログ(日記) etc.

キャンパス*ネット

canpass.net

薬学生の役立つ情報満載!!



キャンパス*ネットは(株)グッピーズにより運営されています。
 キャンパス*ネット 東京都新宿区西新宿7-21-1 新宿ロイヤルビル8F TEL:03-3363-5891 FAX:03-3363-5892 e-mail:info@canpass.net